

公立大学法人島根県立大学のアドミッション・ポリシー

—入学者受け入れ方針

- 幅広い基礎的な教養、学力を持つとともに、自分の考えを適切に表現できる人
- 様々な課題に積極的に取り組む意欲と行動力を持ち、自らを高めようと志す人
- 北東アジアをはじめとするグローバルな社会や地域者で活躍したい人

島根県立大学総合政策学部のアドミッション・ポリシー

—入学者受け入れ方針

島根県立大学総合政策学部は、次のような4つの教育理念を掲げて教育を行っています。

- (1) 主体的に問題を発見・整理し、適切な解決策を提示できる人材の育成
- (2) 豊かな教養を持ち、1つの問題に対し多角的にアプローチできる人材の育成
- (3) 国際的な視野から思考し、直面する問題に対して実践的に対応できる人材の育成
- (4) 国際化、情報化に対応したコミュニケーション能力を備えた人材の育成

このような教育理念のもと、本学部では、2年次からの少人数の演習科目である『総合演習』を学修の核として位置付けています。この『総合演習』は、「国際関係」「北東アジア」「社会経済」「地域政策」という4つのプログラムの中から1つを選択して履修する科目であり、将来の進路を見据えて系統立てた学修を進めるとともに、本学部での「学びの集大成」として充実した卒業研究を行うことを目標とするものです。

上記の教育理念と教育の特色を踏まえて、本学部では次のような学生を求めています。

- 島根県立大学総合政策学部の教育理念と教育内容を十分に理解し、本学部において期待される人材となるべく必要とされる基礎学力とともに、自らを成長させようとする高い勉学意欲と適性を有している人
- 社会の動きに対して積極的な関心を持ち、そこに見られる諸問題を広い視野の中での的確に把握し、多角的なアプローチによってその解決策を考えてみたい人
- 社会科学・人文科学を中心とした幅広い分野の学問を学ぶとともに、「国際関係」「北東アジア」「社会経済」「地域政策」のいずれかについてさらに深く学んでみたい人
- 知識の習得にとどまらず、「豊かな人間性」を育み、実践的な問題発見・解決能力とコミュニケーション能力を鍛え、社会人として求められる資質をバランスよく向上させたい人
- 本学部での学びを自らの生き方と関わらせ、積極的に今後のキャリア形成に活かしていこうとする人

入学後に本学部の教育理念に基づく学修に取り組むにあたって、日頃から世界全体の出来事や地域社会、時事に関心を持っていることが重要です。現状の問題点や課題を自ら発見し、その解決策を提示し実践するための創造的な思考力や、総合政策学部の学びに対し積極的な姿勢で挑む主体性を、高校生活等を通して養っておくことが必要です。また、本学部は社会科学・人文科学を中心としたカリキュラム編成を行っていますので、国語・英語の2教科を中心に地理歴史・公民・数学などを幅広く十分に学習し、基本的な知識や読解力・表現力を身につけておくことも大切です。

アドミッションセンター長

岩本浩史

島根県立大学国際関係学部国際関係学科の アドミッション・ポリシー

教育内容・特色

島根県立大学国際関係学部国際関係学科は、次のような人材の育成を目的にしています。

- (1)多様な世界観が併存する国際社会の平和的發展に寄与する人
- (2)グローバルな視野を持って地球規模の諸課題への関心を深め、国際関係及び多文化コミュニケーションに関する高度な専門的知識を持つ人
- (3)北東アジアをはじめとする国際社会と日本との共生を目指して活躍する人

求める人材

国際関係学部国際関係学科では、本学部学科の教育課程を修めた学生が、本学科の目指す人材に成長できるように入学定員を定め、島根県立大学憲章、島根県立大学アドミッション・ポリシー、国際関係学部国際関係学科の教育目的に基づき、次のような素養がある人の入学を広く求めています。

1. 知識・技能

- (1)高等学校教育における基礎学力
- (2)国内外の近代・現代社会についての基礎的な知識及び教養
- (3)外国語を含む言語の基本的な運用能力

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)国内外の社会が抱える諸課題について、根拠に基づき論理的な筋道を立てて考察し、自らの意見を説得力のある形でまとめ、他者に伝える力

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)北東アジアをはじめとするアジア地域や国際社会、またグローバル化した国内社会が抱える課題に強い関心を持ち、背後にある歴史や地域的特性について主体的に探究する姿勢
- (2)多文化・異文化への好奇心と寛容な姿勢を持ち、海外留学や学内外の様々な活動について積極的・能動的に関わる志向性
- (3)グローバル社会や国内社会で生じている諸課題の解決に向けて、異質な意見を持つ多様な人々との対話を通じて合意形成を目指すために、自らの資質と特性に合わせた役割を主体的に果たす姿勢

国際関係コースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

国際関係学部国際関係学科国際関係コースは、国際平和や地球規模の諸課題及びそれらが国内外の社会に及ぼす影響について、自らの問題関心をグローバルな視点から分析し、多文化共生のための知恵を編み出せる人材の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、国際関係コースでは、4年間の教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 北東アジアをはじめとした国際関係に関わる高度な専門的知識を身につけ、適切な学術的方法や専門的視角に基づいて、グローバル化に伴い複雑化した国内外の諸問題を理解する力
2. 多文化共生や地球規模の諸課題について、政治経済・社会動向・歴史・文化に関わる専門知識を手がかりにして分析的に探求し、その解決策を構想する力
3. 英語と北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）を修得することにより、異文化を深く理解し、多文化共生のツールとして駆使する力
4. 異文化に共感し、異質な意見を持つ多彩な他者とも対話・協働して能動的に合意形成を試みる力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「基礎教養科目群」の履修により、幅広い教養教育を通じて豊かな人間性と高い倫理観を涵養するとともに、北東アジアをはじめとした国際関係に関わる高度な専門的知識を修得するために「専門基礎科目」及び「専門科目」を体系的に学び、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めます。
2. 多文化共生や地球規模の諸課題に対する関心を深めて、学生自らが研究課題を設定し、能動的・主体的に学修する態度を涵養するために、すべての学年で演習などの少人数教育を履修します。
3. 「基礎教養科目群」に「語学・多文化理解科目」を配置し、異文化への共感力を養うとともに、北東アジアをはじめとする国際社会と日本との共生を図るためのツールとして、英語及び北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）を修得します。
4. すべての学年で履修する演習等での少人数教育を通じて、他の参加者と議論、対話、協働して主体的・能動的に学ぶ姿勢を指導します。

求める人材

国際関係コースでは、学生が、上記の内容・特色を持つ教育課程を修めることを通じて、本コースの目的とする人材に成長できるように募集人員を定め、国際関係学部国際関係学科のアドミッション・ポリシー、国際関係コースの教育目的に基づき、次のような素養を持つ人の入学を広く求めています。

1. 知識・技能

- (1) 国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代・現代社会についての基礎的な知識及び教養
- (2) 日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力
- (3) 外国語の基礎の修得と、外国語の基本的な運用能力

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)北東アジアをはじめとする国際社会や、グローバル化が進む日本国内の社会が抱える諸課題について、根拠に基づき論理的な筋道を立てて考察し、自らの意見を説得力のある形でまとめ、他者に伝える力

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)北東アジアをはじめとするアジア地域や国際社会、またグローバル化した国内社会が抱える課題に強い関心を持ち、背後にある歴史や地域的特性について主体的に探究しようとする姿勢
- (2)多文化・異文化への好奇心及び寛容な姿勢と、海外留学や学内外の様々な多文化共生活動について積極的・能動的に関わる志向性
- (3)グローバル社会や国内社会で生じている諸課題の解決に向けて、異質な意見を持つ多様な人々との対話を通じて合意形成を目指すために、他者と協働しつつ、自らの資質と特性に合わせた役割を主体的に果たす姿勢

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 文理科目を分け隔てることなく、高等学校教育課程で学ぶ科目の十分な基礎学力
2. まとまった分量のある日本語の文章を筋道立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力
3. 他者の話を的確に聞き取り、相手の質疑に適切に対応して自分の考えを分かりやすく伝える力
4. 地理歴史・公民の知識を総合的に関連づけて問題関心を養い、自己の体験総体を生かして幅広い視野から日本及び世界で生じている複雑な社会現象を考察しようとする意欲
5. 自らの関心に従って、高等学校での学習に関連する事柄について、旺盛な知識欲と好奇心を持って調べ抜く姿勢
6. 外国語の学習を通じて、言語コミュニケーションに必要とされる基礎的な受信・発信能力を備えるとともに、その言語の背景にある社会・文化を理解しようと努める姿勢

選抜の基本方針

入学者選抜においては、国際関係コースの教育プログラムを受けるための適性を備えた人々を多様な方法で選抜するために、複数の入試区分を設けて募集人員を割り当て、多彩で個性的な人々が入学することを目指します。各入試区分の選抜方法とそのねらいを以下に示します。

1. 一般選抜（前期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、小論文の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語と外国語（英・独・仏・中・韓のいずれか1科目）を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から得点の高い2教科の得点を採用し、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。小論文では、国際関係コースでの専門性を修得する上で必要となる北東アジアを中心とする国際関係への関心について自ら論を立てて記述させ、主体的な探究心、協働性・多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価します。なお、調査書における高等学校での学習成果や活動の記録等の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、小論文評価の際の参考とします。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、外国語（英・独・仏・中・韓のいずれか1科目）を必須とし、それ以外は、国語、地歴・公民、数学、理科、情報のうち最高得点の1教科の得点を採用し、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、調査書における高等学校での学習成果や活動の記録等の記述を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、高等学校教育課程の基礎学力と、国際関係コースでの専門性を修得する上で必要となる問題関心に基づき、高等学校における総合的な探究の時間における探究的な学習の成果と関連づけて自ら論を立てて記述させ、主体的な探究心、協働性・多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価します。面接では、学校長等の推薦書、調査書及び志願者が記載する資料（総合的な探究の時間の成果物等、志願理由書、大学での学修計画書）を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、高等学校教育課程の基礎学力と、文章読解力及び社会への問題関心や理解力、論理的な思考力・表現力を評価します。面接では、調査書及び志願者が記載する資料（志願理由書、大学での学修計画書）を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		
		小論文	○	◎	◎
	後期日程	共通テスト	◎		
		面接		◎	◎
学校推薦型 選抜	一般推薦	小論文	○	◎	○
		面接	○	◎	◎
総合型選抜	自己推薦	小論文	○	◎	○
		面接	○	◎	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P64（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

国際コミュニケーションコースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

国際関係学部国際関係学科国際コミュニケーションコースは、北東アジアをはじめとする国々の言語や民族・生活習慣等に関する理解、および言語コミュニケーションについての知識を基礎とし、国際語としての英語や北東アジア地域諸国の言語を活用して、自らの考えを積極的に発信するとともに、国籍や民族などの異なる他者の価値観についても受容できる、偏見のない豊かな多文化共生社会の構築に寄与できる人材の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、国際コミュニケーションコースでは、4年間の教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 言語学とコミュニケーション学に関する高度な専門知識を身につけ、国際的なコミュニケーションに関する問題を分析し、解決策を探求する力
2. 日本および諸外国の文化や歴史等に関する知識を基礎として、異なる文化的背景を持つ他者とも対話を通じて相互に理解する力
3. 高度な英語の運用能力と北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）の基礎的運用能力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「基礎教養科目群」の履修により、様々な学問領域にわたる教養や、地域社会および国際社会の諸問題に関する事柄を幅広く学ぶとともに、国際的なコミュニケーションに関する専門的知識を習得するために「専門基礎科目」及び「専門科目」を体系的に学び、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めます。
2. 「基礎教養科目群」に「語学・多文化理解科目」を配置し、「専門基礎科目」及び「専門科目」における言語学・コミュニケーション学や、言語の運用についての学びの素養を培います。
3. すべての学年に配置する演習科目での少人数教育や、海外の協定校の学生とテレビ会議やインターネットのチャット機能を用いてディスカッションを行う授業を通じて、他の参加者と議論、対話、協働して主体的・能動的に学ぶ姿勢を育成します。

求める人材

国際コミュニケーションコースでは、学生が、上記の内容・特色を持つ教育課程を修めることを通じて、本コースの目的とする人材に成長できるように募集人員を定め、国際関係学部国際関係学科のアドミッション・ポリシー、国際コミュニケーションコースの教育目的に基づき、次のような素養を持つ人の入学を広く求めています。

1. 知識・技能

- (1) 国際的なコミュニケーションに関する問題を学ぶにあたって必要となる英語や国語の基礎学力
- (2) 諸外国の社会や文化についての基礎的な知識

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 現代社会における様々な出来事について問題意識を持ち、自分の考えをまとめる力
- (2) 自分の考えを、他者に対して的確に、わかりやすく伝える力

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)地域および国際的な諸問題について広く関心を持ち、より良い社会の構築に向けて、主体的に貢献したいという意欲
- (2)対話を通じ、自らの考えを積極的に発信するとともに、多様な考えを受け入れながら、他者と力を合わせ、目標を達成しようとする姿勢

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程で学ぶ科目の十分な基礎学力
2. まとまった分量のある日本語の文章を筋道立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力
3. 英語の文章を読み解く力と、口頭及び文章による基本的な受信・発信能力を備えるとともに、その言語の背景にある社会・文化を理解しようと努める姿勢
4. 他者の話を的確に聞き取り、相手の質疑に適切に対応して自分の考えを分かりやすく伝える力
5. 自らの関心に従って、高等学校での学習に関連する事柄について、旺盛な知識欲と好奇心を持って調べ抜く姿勢

選抜の基本方針

入学者選抜においては、国際コミュニケーションコースの教育プログラムを受けるための適性を備えた人々を多様な方法で選抜するために、複数の入試区分を設けて募集人員を割り当て、多彩で個性的な人々が入学することを目指します。各入試区分の選抜方法とそのねらいを以下に示します。

1. 一般選抜（前期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、小論文の評価を総合して行います。大学入学共通テストにおいては、国語と外国語（英・独・仏・中・韓のいずれか1科目）を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から得点の高い2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。小論文では、日本語と英語による問題を課し、日本語による思考力・表現力と英語による表現力に加えて、国際コミュニケーションコースで学ぶ上での関心や主体性を評価します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストにおいては、国語と英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報のうち最高得点の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。面接では、国際コミュニケーションコースでの学びに対する理解や意欲、自己表現力など、国際コミュニケーションコースで学ぶ上での適性を評価します。

3. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、英語による小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、高等学校教育課程の基礎学力、英語の運用能力、理解力、論理的な思考力・表現力を評価します。面接では、調査書及び志願理由書を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力・表現力、国際コミュニケーションコースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		
		小論文		○	○
	後期日程	共通テスト	◎		
		面接		○	○
総合型選抜	自己推薦	小論文	◎	○	
		面接		○	○

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P64（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

【国際関係学部・地域政策学部】 共通事項

島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する 特別選抜における「選抜の基本方針」

選抜の基本方針

■社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文及び面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、基礎的な日本語能力及び基礎学力を評価します。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

①社会人特別選抜、帰国生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

②私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
日本留学試験	◎		
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

地域政策学部地域政策学科のアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

島根県立大学地域政策学部地域政策学科は、地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材を育成することを目的としています。

求める人材

求める学生像は次のとおりです。

1. 知識・技能

- (1)社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる読解力やものの見方を身につけている人
- (2)大学における学修に必要な幅広い基礎学力や教養を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)多角的な視点に立って物事をとらえ、柔軟な発想ができる人
- (2)自身の考えを明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域の諸課題について広く関心をもつとともに、課題の解決に取り組む意欲があり、主体的に学修に取り組むことができる人

地域経済経営コースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域経済経営コースでは、「経済学や経営学に関する実践に裏打ちされた知識や能力をもって、地域経済や企業の発展に貢献できる人材」を育成することを目指しています。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域の様々な主体との連携に基づくフィールドワーク等を通じて、地域や企業等の価値や問題を発見する力
2. 地域や企業等が抱える問題について、専門的知識やものの見方を用いて解決策を構想する力
3. 自分の考えをわかりやすく提示し、他者に論理的に説明する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 経済学や経営学の根幹となるような基礎的・専門的な知識を確実に身につけられるように、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」に「コア領域科目」を配置し、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めていきます。

2. 経済学や経営学の専門的な知識科目に加え、「関連領域科目」として、法、政治・行政、社会学などの科目を幅広く配置することで、多角的な視点を養い、学修の効果を一層高めます。
3. 演習科目では、行政や支援機関、企業とも連携しPBL（問題解決型学習）やフィールドワークを取り入れます。
4. 卒業研究では、PBL（問題解決型学習）やフィールドワーク、独自の統計分析等を行い、地域にとって、あるいは、学術的に有意義なものを目指します。

求める人材

1. 知識・技能

- (1) 経済学や経営学を中心とした社会科学を学修するために必要となる基礎学力、読解力及びものの見方を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 目的をしっかりと見据え、自ら進んで考えることができる人
- (2) 自身の考えを明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 鳥根県やその他の地域の地域経済や企業等が抱える問題について関心をもち、経済学や経営学の知識や方法を用いてその問題解決に取り組みたいという意欲をもった人
- (2) 多様な人々と協働しながら学修を進めるために必要な協調性がある人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自身が関心をもつこととがらに関して信頼できる情報を収集し、文章や図表、統計資料等を利用して考察する力
3. 他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを口頭や文章で表現する力
4. 地域経済や企業についての高い関心
5. 自身が関心をもつこととがらについて主体的に探求していく力
6. 他者と協働しながらひとつのことを成し遂げる力

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教

科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学や経営学を中心とした社会科学を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身につけているかどうかを評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学や経営学を中心とした社会科学を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身につけているかどうかを判定評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎
学校推薦型 選抜	一般推薦	総合問題	○	◎	○
	面接	○	○	◎	
総合型選抜	自己推薦	総合問題	○	◎	
		面接	○	○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P64（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

地域公共コースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域公共コースでは、生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生のために、多様性を尊重しつつ、公共的見地から多様な知識を融合させて、協働と自律の理念のもとに、課題の解決策を立案できる人材を育成します。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 法、政治・行政、社会の各領域を支えている根本原理について理解し、俯瞰して政治・社会的事象を考察する力
2. 多様な人々が共生する地域社会の自律した個人として、多様性を尊重しつつ、自らの意見や考えを公共的な見地から発信する力
3. 多様な知識を融合させ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、人々の共生に向けて、課題の解決策を立案する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の「コア領域科目」の履修を通じて、法、政治・行政、社会の領域に加えて、公共政策に関わる専門的な知識を修得し、俯瞰して政治・社会的事象を考察する力を身につけます。
2. 「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の「関連領域科目」の履修を通じて、政策、環境、経済、経営等の幅広い知識を修得し、公共的な課題の解決策を「政策」という形で構想する力を培います。
3. 演習科目では、少人数教育を通じて、多様な知識を融合させ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、人々の共生に向けて、課題の解決策を立案する力を培います。

求める人材

1. 知識・技能

- (1) 公共的な課題について考察するために必要な基礎知識と文章の読解力を身につけている人
- (2) 自分自身の主張を口頭で分かりやすく伝達する適切な日本語の運用能力を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 広く人々が関心を持つ公共的な観点から、地域の多様な課題について考察し、議論することができる人
- (2) 多様な人々の考えや主張を傾聴したうえで、幅広い視点から柔軟に思考することができる人
- (3) 自分自身の考えや主張を明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 自ら課題を発見し、他者と協働してその課題を解決しようとする姿勢を身につけている人
- (2) 広く人々が関心を持つ公共的な見地から、自分自身の知見を広げ、善き社会の実現に向けてその知見を活かそうとする意欲を持つ人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 日本語の文章の読解力と適切に日本語を運用する力
3. 他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを分かりやすく伝える力
4. 幅広い視野から公共的な課題を考察しようとする意欲
5. 地域の多様な課題に対して、公共的な観点から考察・議論することへの関心
6. 多様な学問領域への関心と多様な知識を融合して、課題を発見し、解決しようとする意欲

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報、英語から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接		○	○
学校推薦型 選抜	一般推薦	共通テスト	◎	○	
		面接		○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P64（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

地域づくりコースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域づくりコースでは、地域の人々と密接なコミュニケーションをとりながら、地域の見落とされている価値や資源を発掘し、地域が直面する課題に自分独自の解答を見出すことができる「地域で生きる自立型人材」を育成します。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域が保有する資源や価値を様々な角度から分析し、的確に評価する力
2. 地域が保有する資源を再検討し、新たな価値を見出すとともに、地域と協働して課題解決に取り組む実践的な力
3. 取組みの成果をわかりやすく提示し、地域に還元する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 実践型の授業科目（アクティブ・ラーニング）を配置し、地域の特徴と課題を把握できるスキルをみがきます。
2. 地域住民をはじめとした地域の様々な関係者とのコミュニケーションを通して、地域づくりに必要な構想力を養いながら、プロジェクトを実際に企画・立案・実行し評価できる能力を養います。
3. 地域との協力・協働による実践的な活動を通して、多様な視点から地域社会を分析し、課題解決に向けたアイデアを具体化できる能力を身につけます。

求める人材

1. 知識・技能

- (1) 他者と議論して考え方をまとめたり、成果物を作成するために必要となる基礎学力や教養を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 自身の考え方や主張を、論理的に説明することができる人
- (2) 複雑な事案に向き合い、その原因と結果を探求し、わかりやすく表現できる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 地域社会の課題解決に向け、主体的かつ積極的に他者と協働する姿勢をもつ人
- (2) 地域社会の新しい担い手となる意欲を持ち、それに向けて努力を惜しまない人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自分のオリジナリティを大切にし、自分自身で考える力
3. 自分の考えを分かりやすくまとめ、他者に伝える力
4. 地域が抱える問題に関心を持ち、主体的に探求しようとする姿勢
5. 前向きなチャレンジ精神と強い学修意欲

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

3. 学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

合格者の決定は、プレゼンテーション及び面接の評価を総合して行います。島根に愛情を持ち、支えていこうという思いと夢のある人を、高校と大学が共に育てます。プレゼンテーションと面接によって、本コースで学ぶにあたって必要となる基礎的な知識、「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、プレゼンテーション、小論文及び面接の評価を総合して行います。高校在学中に、生徒会活動や部活動などの学校内の諸活動、または、NPOや高校生起業家などの学外活動において、自分の役割をはっきりと認識し、主体的かつ意欲的に取り組んできた経験がある人を対象としています。プレゼンテーションと面接により、本コースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。また、小論文によって基礎学力を評価します。

各選抜方法において重視する力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接		○	◎
学校推薦型 選抜	しまね高大 連携推薦	プレゼンテーション	○	◎	◎
		面接		○	◎
総合型選抜	自己推薦	プレゼンテーション	○	◎	◎
		小論文	◎	○	
		面接		○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P64（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

【国際関係学部・地域政策学部】 共通事項

島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する
特別選抜における「選抜の基本方針」

選抜の基本方針

■社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文及び面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、基礎的な日本語能力及び基礎学力を評価します。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

①社会人特別選抜、帰国生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

②私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
日本留学試験	◎		
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

島根県立大学看護栄養学部のアドミッションポリシー

島根県立大学看護栄養学部 アドミッションポリシー

1. 豊かな人間性を備え、看護学もしくは栄養学に関心がある人
2. 人々の健康に関する分野で、何事にも前向きに挑戦する意欲がある人
3. 保健・医療・福祉・教育等の分野を学ぶ上で、必要な学習能力を備えている人

看護学科アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学看護栄養学部看護学科は、「人々のいのちを支え、健康なくらしを創るために地域と共に歩み続ける看護専門職」を育成することを目指しています。本学での教育を通じて、以下の能力を育成します。

1. 看護専門職として看護実践に必要な基本的な技術と知識を身につけ、深い人間理解と高い倫理観をもって判断し、行動できる人材。
2. 市民的な教養と豊かな人間性をもち、保健・医療・福祉等に携わる人々と協働、連携できる人材。
3. 地域の人々との関わりを通じて地域の特性と健康課題を明らかにし、課題解決に向けて創造的に行動できる人材。

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 地域に焦点を当てたカリキュラムの導入
2. 看護実践を支える知識・技術の修得強化
3. 学生の主体的な取り組みや課題探求力の強化
4. 看護の質の向上への研究や地域貢献機能の強化

求める人材

1. 人間が大好きで生命の尊厳を重視し、看護に高い関心がある人
2. 強い責任感と倫理観に支えられた豊かな人間性を備えている人
3. コミュニケーション能力や看護学を学ぶ上で必要な学習能力をもつ人
4. 主体的に課題を解決する意欲と行動力を備えている人

高等学校段階で修得しておくべき内容

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 保健・医療・福祉に対する高い関心や学習意欲
3. コミュニケーション能力と表現力
4. 自分の発言や行動への責任感

選抜の基本方針

・一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・一般選抜（島根県地域枠）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

合格者の決定は、総合問題（学力試験）、面接の評価を総合して行います。総合問題（学力試験）では、学力試験『数学Ⅰ』、『化学基礎』および『生物基礎』、『国語（古文・漢文除く）』（大学入学共通テスト実施大綱において定める出題科目に依る範囲から出題します）を課します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜（中山間・離島枠）

合格者の決定は、総合問題（学力試験）、面接の評価を総合して行います。総合問題（学力試験）では、学力試験『数学Ⅰ』、『化学基礎』および『生物基礎』、『国語（古文・漢文除く）』（大学入学共通テスト実施大綱において定める出題科目に依る範囲から出題します）を課します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、出身地域への保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲を重視して評価します。

・学校推薦型選抜（専門高校・総合学科枠）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・総合型選抜

合格者の決定は、1次試験のレポート、2次試験の面接の評価を総合して行います。1次試験通過者には2次試験として面接を課します。1次試験のレポートでは、複数の課題文等と共にレポートのテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。2次試験の面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、高等学校在学中の活動実績、将来計画書を参考に学習および活動意欲を重視して評価します。

・社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を評価します。

・帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性等を評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、面接、日本留学試験の評価を総合して行います。面接では、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を評価します。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。

各選抜における求める力（評価する力）

◎：特に重視する ○：重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・一般選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・一般選抜（島根県地域枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
総合問題（学力試験）	◎	○	
面接		○	○

・学校推薦型選抜（中山間・離島枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
学力試験	◎	○	
面接		○	○

・学校推薦型選抜（専門高校・総合学科枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・総合型選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
レポート	○	◎	
面接		○	○

・社会人・学士特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・帰国生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・私費外国人留学生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
日本留学試験	◎		
面接		○	○

健康栄養学科アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科は、「自ら考え行動できる、視野の広い専門職業人」を育成することを目指しています。本学での教育を通じて、以下の能力を育成します。

1. 管理栄養士として療養者に対し、高度の専門的知識・技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導を行うことのできる人材
2. 栄養学・健康科学など関連する諸科学に基づく判断力を持ち、管理栄養士・栄養士の倫理綱領を基盤として、関連職種と連携して協働できる人材
3. 地域の特性と健康課題を明らかにし、地域の健康づくり及び公衆衛生の改善に参画できる人材

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 関連職種連携を重視したカリキュラム
2. 在宅栄養ケアに対応できる人材の育成
3. 地域の健康・栄養課題を行政と連携して解決できる人材の育成
4. 地域の健康福祉分野・地場産業との研究・教育活動を介した連携

求める人材

1. 自然科学に基づく思考力・分析力や食と健康に関わる学問への興味・熱意をもつ人
2. 管理栄養士としての専門知識に基づき、保健・医療・福祉・教育等の分野において社会に貢献しようとする意欲をもつ人
3. 地域への関心と人への思いやりをもち、地域社会において関連職種や関係機関と連携して活動するための協調性を備えている人

高等学校段階で修得しておくべき内容

1. 高等学校教育課程までの基礎学力及び自然科学に基づく思考力と分析力
2. 食と健康に関わる分野への明確な目的意識
3. 積極的に学ぶための学習習慣
4. 相手を尊重し、適切にコミュニケーションできる能力

選抜の基本方針

・一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・一般選抜（島根県地域枠）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

合格者の決定は、総合問題（学力試験）、面接の評価を総合して行います。総合問題（学力試験）では、

学力試験『数学Ⅰ』、『化学基礎』および『生物基礎』、『国語（古文・漢文除く）』（大学入学共通テスト実施大綱において定める出題科目に依る範囲から出題します）を課します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜（専門高校・総合学科枠）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・総合型選抜

合格者の決定は、1次試験のレポート、2次試験の面接の評価を総合して行います。1次試験通過者には2次試験として面接を課します。1次試験のレポートでは、複数の課題文等と共にレポートのテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。2次試験の面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、高等学校在学中の活動実績、将来計画書を参考に学習および活動意欲を重視して評価します。

・社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、面接、日本留学試験の評価を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。面接では、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

各選抜における求める力（評価する力）

◎：特に重視する ○：重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・一般選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・一般選抜（島根県地域枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
総合問題（学力試験）	◎	○	
面接		○	○

・学校推薦型選抜（専門高校・総合学科枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・総合型選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
レポート	○	◎	
面接		○	○

・社会人・学士特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・帰国生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・私費外国人留学生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
日本留学試験	◎		
面接	◎	○	○

島根県立大学人間文化学部のアドミッションポリシー (入学者受入方針)

島根県立大学人間文化学部のアドミッションポリシー

人間文化学部では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学力について、次のとおり定めます。

[知識・技能]

- ・高等学校における基本的な教科を幅広く理解し、大学で学んでいく上で必要な基礎的な学力を身に付けている人

[思考力・判断力・表現力]

- ・広く多様な角度から物事を捉える視野と、自ら主体的に考える姿勢を有し、自らの考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・大学での学びを地域に還元し、他者と協調しながらこれからの地域社会を担っていこうとする強い意欲のある人

保育教育学科のアドミッションポリシー

教育内容・特色

保育教育学科では、「地域文化や児童文化を次世代に向けて継承し得る豊かな人間性をもった保育者・教育者」及び「乳幼児期から児童期までの子どもの成長・発達を見通して考えることのできる広い視野と高度な専門性を持ち、地域の様々な環境に置かれた子どもや障がいのある子どもに対応し得る高い実践力を備えた人材」を育成します。

保育教育学科の教育内容の特色は次のとおりです。

1. 地域の課題を自ら探求する能力の育成
2. 地域の人間と文化の魅力を、次世代を担う子どもたちに継承することができる表現力の育成
3. 子どもの発達や学習過程についての高い専門性と考察力の育成
4. 集団での協同的実践能力の育成

求める人材

保育教育学科では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学力について、次のとおり定めます。

[知識・技能]

- ・保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力を有している人

[思考力・判断力・表現力]

・多様な角度から課題を捉え、自分の視点で考察した上で、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

・保育者・教育者として、大学で学んだ専門的知識や技能を地域に還元し、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

また、高等学校段階で修得しておくべき内容は次のとおりです。

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自ら課題を発見し、考えたことを表現する力（課題発見力、思考力、表現力）
3. 保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲
4. 豊かなコミュニケーション能力

選抜の基本方針**一般選抜**

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等の保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接（プレゼンテーションの要素を含む）では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、課題発見力、思考力、表現力、豊かなコミュニケーション能力等の保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、高等学校での学習活動や課外活動等の努力及び成果及びそれを踏まえた将来の展望と学習意欲を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても用います。

社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとします。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い

関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文、面接、書類審査を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

入試区分	選抜方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト		◎		
	面接		○	○	◎
学校推薦型選抜 (一般推薦)	小論文		○	◎	
	面接(プレゼンテーション要素を含む)	プレゼンテーション		◎	○
		個別面接			◎
	書類審査	調査書	○		○
志願理由書			○	○	
社会人・学士 特別選抜	小論文		○	◎	
	面接		○	○	◎
	書類審査		○		
帰国生特別選抜	小論文		○	◎	
	面接		○	○	◎
	書類審査		○		
私費外国人留学生 特別選抜	日本留学試験		◎		
	小論文		○	◎	
	面接		○	○	◎
	書類審査		○		

地域文化学科のアドミッションポリシー

教育内容・特色

地域文化学科では、「地域の文化を基盤としてグローバルな視点で文化の諸相を捉えることのできる広い視野と寛容の精神を備え、人々と協働しながら文化の活性化に取り組む態度を身に付けた人材」を育成します。

地域文化学科の教育内容の特色は次のとおりです。

- ・日本及び海外諸地域の文化について探求し、文化を多面的に捉える広い視野の獲得
- ・異なる地域や異なる時代の様々な人間の生き方や文化を尊重する寛容と共生の精神の獲得
- ・豊かでの確かな表現力と円滑なコミュニケーション力の育成

求める人材

地域文化学科では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める能力について、次のとおり定めます。

[知識・技能]

- ・文化に関する様々な分野からの専門的な学びを深めていくために必要な基礎的な学力を有している人

[思考力・判断力・表現力]

- ・広い視野から事象を見て、自ら見出した課題を主体的に考え、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・地域の文化から日本、海外諸地域の文化まで多様な視点から文化について学び、学んだことを地域において還元し、社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

また、高等学校段階で修得しておくべき内容は次のとおりです。

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 主体的に考え、自らの行動に責任をもって行動できる態度
3. 文化に対する高い関心や学習意欲
4. 自らの考えを適切に表現でき、他者との対話を通じて自らの考えを伝えることのできる能力

選抜の基本方針

一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は調査書及び受験者本人の作成する活動報告書を対象とし、高等学校での学習活動や課外活動等の成果を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、過去3年間に熱心に取り組んだこと、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は調査書及び受験者本人の作成する活動報告書を対象とし、高等学校での学習成果、課外活動等の成果を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学歴における学習成果を評価します。成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとします。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学歴における学習成果を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文、面接、書類審査を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学歴における学習成果を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	◎		
	面接		◎	○
学校推薦型選抜 （一般推薦）	小論文	○	◎	
	面接		◎	○
	書類審査	◎		○
総合型選抜 （自己推薦）	小論文	○	◎	
	面接（プレゼンテーション要素を含む）		◎	○
	書類審査	◎		○
社会人・学士 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	○
	書類審査	◎		○
帰国生特別選抜	小論文	○	◎	○
	面接	○	◎	○
	書類審査	◎		○
私費外国人留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	○
	書類審査	◎		○

【看護学研究科 アドミッションポリシー（入学者選抜の方針）】

【博士前期課程】

＜ 研究者養成コース ＞

- (1) 看護学の基礎的な能力を有する人
- (2) 倫理的感受性をもって保健・医療・福祉の状況を捉え、柔軟に行動できる人
- (3) 論理的思考力や課題探究心をもち、看護学の知識を自ら学んでいくことができる人
- (4) 看護学や看護実践の発展に寄与し、地域に貢献する意欲のある人

＜ 高度実践者養成コース（助産学領域） ＞

- (1) 看護学の基礎的な能力を有し、自ら学ぶ能力を持つ人
- (2) 関係職種と協働するためのコミュニケーション能力を持つ人
- (3) 地域社会の母子とその家族の健康課題を因るための論理的思考力や課題探求心を持つ人
- (4) 助産学の発展に寄与し、島根県の産科医療の課題解決に貢献する意欲のある人

＜ 高度実践者養成コース 診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域 ＞

- (1) 地域医療に関心をもち、地域の人々の健康の維持・増進・疾病の悪化予防に寄与する意欲のある人
- (2) 協調性と自律性を備え、多職種と協働できるコミュニケーション能力をもつ人
- (3) 倫理的感受性をもって保健・医療・福祉の状況を考え、柔軟に行動できる人
- (4) 看護実践の科学的な根拠を探究し、自己研鑽し続ける人

【博士後期課程】

- (1) 看護学を専攻する看護専門職として必要な教養と素養、倫理観を備えている。
- (2) 看護学に関連する基礎的な研究能力を有し、自律して研究に取り組む姿勢を備えている。
- (3) 看護学の充実・発展・革新を志向し、専門的知識・技術と教育指導力を備えている。
- (4) 看護学教育者・研究者、継続教育や自律して研究が継続できる看護専門職者のいずれかを志望している。
- (5) 論理的思考と柔軟な発想をもち、真理を探究できる。
- (6) 看護実践や研究を通して取り組むべき研究課題を有していることが望ましい。